

事務事業評価シート(平成21年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
事務事業名		教育総務 課	萬浪佳隆	徳平みゆき
図書館運営事業		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
		<input type="radio"/> 新規	15 年度	年度
		<input checked="" type="radio"/> 継続	H20以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつむむ、あったかいまち	(節) 2 学ぼう、活かそう	
	個別計画	(基本計画) 生涯学習を推進する		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
図書館法		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
多可町図書館条例		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
図書、記録及びその他資料を収集し、図書館及び加美・八千代公民館分室において、利用者へ閲覧・貸出を行うとともに、研究・調査の支援を行う。また、郷土資料・行政資料等の永年保存に努める。		補助金の支給	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="checkbox"/> 委託なし(全部直営)	

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象(働きかける相手・誰が・もの)	受益者(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
住民	住民	図書等を利用者に提供することにより、生涯学習を推進し、豊かな生活を支援する

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>				会計名	一般	会計
細目名	図書館運営事業	細目名		細目名		
予算コード	款 10 項 5 目 3 大事業 1	予算コード		予算コード		

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	20年度決算	21年度実績(見込み)	22年度計画	備考(全体事業費など)
総コスト			54,010	52,636	50,320	
コストの内訳	直接事業費	千円	19,678	18,195	17,648	
	所属内間接費		1,439	1,015	1,328	
	人件費		32,893	33,426	31,344	
	投入人員	人/年	4.25	4.25	4.25	
財源内訳	国・県支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		54,010	52,636	50,320	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>						
事務事業を構成する業務	手段(事務事業整理シートより)	活動指標(手段の数値化)	単位	20年度実績	21年度実績	22年度目標
1 図書の貸出・返却	講座・イベントの開催や広報・図書館だより・たかTVなどによるPRにより、利用者の増加を図る。また、来館者への適切な資料提供等により満足していただくよう努め、リピーターを増やす。	貸出冊数	冊	165,657	171,755	180,000
2 情報提供(レファレンス)						
3 図書の充実		購入金額	千円	10,000	10,000	10,000
4 講座・イベント		開催回数	回	38	39	40
5						

(ソフト事業) (B面)

事務事業名 [

図書館運営事業

]

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [ 図書館運営事業 ]			備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 実績(見込み)	22年度 目標	
貸出冊数	冊	165,657	171,755	180,000	
町民登録率	%	24.6	26.8	29.5	

7 事務事業の事後評価 <Check>		(ソフト事業)				担当の把握している課題
チェック項目		該当項目に「○」				
必要性	需要への 対応性	住民ニーズは	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない	<input type="radio"/> 把握なし	図書館は利用するほど 便利な施設であるが、未利用者には理 解されにくいいため、利用 を掘り起こす必要 がある。
		緊急性は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない	<input type="radio"/> 把握なし	
	利用者・対象者数は	<input type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 減少	<input type="radio"/> 横ばい		
	他市町と比較して対象者に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> 把握なし		
町の関与 の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> 把握なし	有効利用のためには、児童館や学校な どの蔵書も含め一元 管理が望ましいが、シ ステムの拡張がむず かしい。	
	国や県の事業(サービス)との重複は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> 把握なし		
妥当性	サービス 水準の 妥当性	事業開始時から社会環境の変化は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> 把握なし	サービスの向上には 検討の余地がある。
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> 把握なし	
	連携の 可能性	他課で類似の事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> あるが困難	
		他の事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> あるが困難	
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> あるが困難	図書館は知る権利を 保障する施設でもあ るので、行政が支える べきものである。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> あるが困難	
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> あるが困難	
		受益者負担を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> あるが困難	
有効性	目標の 達成度	成果指標が明らかで	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> 測定困難	図書館は知る権利を 保障する施設でもあ るので、行政が支える べきものである。
		前年より成果が上がって	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない	<input type="radio"/> 横ばい	
	持続の 可能性	継続することによる効果は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない	<input type="radio"/> 測定困難	
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない	<input type="radio"/> 測定困難	
市場化の 可能性	既に全部委託済	<input type="radio"/> 更なる委託化が可能である		<input type="radio"/> 委託化は不可能		
	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="radio"/> 1.改善の余地はない		<input type="radio"/> 2.改善の余地がややある		
		<input type="radio"/> 3.改善の余地が多い		<input type="radio"/> 4.抜本的な見直しが必要		

## 事務事業評価書

### 8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など)  多可町としての人口分布、生活動線などを考慮した上で、サービス拠点の場所や規模を再考した図書館サービス計画の策定が必要である。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)  暮らしに役立つ図書館として、加美図書室、八千代図書室を充実させ町内全域に渡る図書サービスの充実を図りたい。また、図書館の情報発信を進める意味で「打って出る」事業の策定をしたい。  司書ボランティアを募り各図書室に配置できるように務めたい。									
所管評価	1. 重点的に継続	2. 現状のまま継続	○	3. 内容を見直しながら継続	4. 縮小を検討				
	5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討	7. 終了・完了	内部評価	3				
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか)  常により良いものを求めて、企画運営していきたい。  住民の願いを十分に把握していきたい。									
事業評価	1. 重点的に継続	2. 現状のまま継続	○	3. 内容を見直しながら継続	4. 縮小を検討				
	5. 統合・連携を検討	6. 休止・廃止を検討	7. 終了・完了						
評価委員コメント									
利用率アップにつながる政策を要する。  加美プラザ建設によって、登録率が上がるのを期待したい。									